

2026年度 シラバス

科目名	保健	区分	必修	単位数	2 単位	対象学年	1 年
担当教員	北島 清水 治村 比永	実務経験	無				
学修内容	皮膚や毛髪などを除く人体の各器官を系統別に 8 章に分け、それぞれの構造と生理機能を学ぶ						
到達目標	美容師国家試験合格および前後期筆記試験で60点以上必達。 人体の構造・機能に関する科学的、系統的知識を身に着けることで、理容・美容における保健の意味を理解し、必要となる思考力や判断力を養う						
授業の方法	授業は主に講義にて行う 教科書に基づいた説明を板書し、各自ノートにまとめていく 各章の学習ごとにまとめプリントを作成し、確認テストを行うことで、学習内容の定着を図る						
成績評価の方法と基準	前後期各 1 回の筆記試験にて評価を行う。試験は100点方式をもって採点し、60点以上を合格とする。 成績評価はA, B, C, Dで表し、A, B, Cまでを合格として履修を認定する。Dは再試験を受けなければならない。						
授業時間外に必要な学修の具体的内容	各章の確認テストの機会を利用して、各自復習を行う						
使用教材	教科書 保健（公益社団法人 日本理容美容教育センター） 理解を深めるため模型（骨格標本、心臓、脳、眼球、消化管、肺）などを用いて説明する						
実務経験に基づく授業内容	臨床獣医師および動物看護師向けの解剖学講師として従事している知識を生かし、美容保健の内容を身近なものとして理解出来るような授業を行う						
履修に当たっての留意点	特になし						
各コマにおける授業計画							
回	主 題	授 業 内 容				備 考	
第1回	理容・美容の導入	ガイダンス 第 1 章 人体各部の名称					
第2回	第 1 章	第 1 章-2 項 頭部、顔部、頸部の体表解剖学 1. 眼					
第3回		1. 眼 2. 耳					
第4回		3. 鼻 4. 口					
第5回	第 2 章	第 1 章の確認テスト 第 2 章 骨格器系					
第6回		第 1 章-1 項 骨の種類と構造					
第7回		2 項 骨の連結					
第8回		3 項 骨格器系とそのはたらき（1. 頭蓋）					
第9回		2. 脊柱 3. 胸郭					
第10回	第 3 章	4. 上肢骨と下肢骨					
第11回		第 2 章の確認テスト 第 3 章 筋系 筋の種類					
第12回		1 項 筋の種類とその特徴					
第13回		2 項 主な骨格筋とそのはたらき 1. 頭部の筋 2. 頸部の筋					
第14回		3. 上肢と下肢の筋 4. 体幹の筋					
第15回	第 4 章	3 項 表情筋と表情運動					
第16回		3 項 表情筋と表情運動					
第17回		第 3 章の確認テスト 第 4 章 神経系 1 項 神経系の成り立ち					
第18回		神経系の大別					
第19回		2 項 中枢神経とそのはたらき 1. 脳					
第20回	第 5 章	2. 脊髄					
第21回		3 項 末梢神経とそのはたらき 1. 体性神経					
第22回		2. 自律神経				前期試験範囲	
第23回		第5章 感覚器 1 項 視覚					
第24回		1 項 視覚					
第25回	第 5 章	2 項 聴覚					
第26回		3 項 平衡感覚					
第27回		4 項 味覚					
第28回	第 6 章	5 項 嗅覚 6 項 皮膚感覚					
第29回		第 5 章の確認テスト 第 6 章 血液・循環器系					
第30回		1 項 血液のあらまし 1. 血液					

2026年度 シラバス

	保健	区分	必修	単位数	2 単位	対象学年	1 年
担当教員	北島 清水 治村 比永	実務経験	無				
学修内容	皮膚や毛髪などを除く人体の各器官を系統別に8章に分け、それぞれの構造と生理機能を学ぶ						
到達目標	美容師国家試験合格および前後期筆記試験で60点以上必達。 人体の構造・機能に関する科学的、系統的知識を身に着けることで、理容・美容における保健の意味を理解し、必要となる思考力や判断力を養う						
授業の方法	授業は主に講義にて行う 教科書に基づいた説明を板書し、各自ノートにまとめていく 各章の学習ごとにまとめプリントを作成し、確認テストを行うことで、学習内容の定着を図る						
成績評価の方法と基準	前後期各1回の筆記試験にて評価を行う。試験は100点方式をもって採点し、60点以上を合格とする。 成績評価はA, B, C, Dで表し、A, B, Cまでを合格として履修を認定する。Dは再試験を受けなければならない。						
授業時間外に必要な学修の具体的内容	各章の確認テストの機会を利用して、各自復習を行う						
使用教材	教科書 保健（公益社団法人 日本理容美容教育センター） 理解を深めるため模型（骨格標本、心臓、脳、眼球、消化管、肺）などを用いて説明する						
実務経験に基づく授業内容	臨床獣医師および動物看護師向けの解剖学講師として従事している知識を生かし、美容保健の内容を身近なものとして理解出来るような授業を行う						
履修に当たっての留意点	特になし						
各コマにおける授業計画							
回	主 題	授 業 内 容				備 考	
第31回	第7章	1. 血液					
第32回		1. 血液					
第33回		2 項 血液循環の仕組み					
第34回		1. 心臓					
第35回		2. 血管					
第36回		3 項 血液循環経路					
第37回		4 項 心臓と血管のはたらき					
第38回		5 項 リンパ管系の仕組みと働き					
第39回		第6章の確認テスト 第7章 呼吸器系					
第40回		1 項 呼吸器系のあらまし 2 項 気道					
第41回	第8章	3 項 肺の仕組み					
第42回		4 項 呼吸運動				前期試験範囲	
第43回		第7章の確認テスト 第8章 消化器系（1 項 あらまし）					
第44回		2 項 消化管の仕組み 1. 口腔					
第45回		2. 唾液腺 3. 食道					
第46回		4. 胃 5. 腸					
第47回		3 項 消化管のはたらき 1. 咀嚼					
第48回		2. 嚥下 3. 胃腸の運動					
第49回		4 項 消化と物質代謝					
第50回		4 項 消化と物質代謝					
第51回	第2編 第1章	第1章： 皮膚の構造					
第52回							
第53回							
第54回							
第55回							
第56回							
第57回							
第58回		確認テスト（第1章）				後期試験範囲	
第59回	第2編 第2章	第2章： 皮膚付属器官の構造					
第60回							

2026年度 シラバス

科目名	保健	区分	必修	単位数	1 単位	対象学年	2 年
担当教員	北島 清水 治村 比永	実務経験	無			コース	全コース
学修内容	美容の施術対象である皮膚、毛、爪に対する解剖学・生理学・疾病学の専門知識を習得する						
到達目標	美容師国家試験合格および前後期筆記試験で60点以上必達						
授業の方法	授業は、講義を中心として行う。教科書、ワークブックを中心に授業を実施する。授業ではイラスト、写真などのスライドを多用して視覚的に理解が深められるよう指導する。定期的にテストを実施し、授業内容の理解程度を確認する。						
成績評価の方法と基準	前後期各 1 回の筆記試験にて評価を行う。試験は100点方式をもって採点し、60点以上を合格とする。成績評価はA, B, C, Dで表し、A, B, Cまでを合格として履修を認定する。Dは再試験を受けなければならない。						
授業時間外に必要な学修の具体的内容	自主的に授業内容が復習できるよう確認プリントを配布する						
使用教材	教科書（公益社団法人 日本理容美容教育センター）、ワークブック、プロジェクター（PC）						
履修に当たっての留意点	講義内容と実習・実生活との関連性を常に意識する						
各コマにおける授業計画							
回	主 題	授 業 内 容				備 考	
第1回	第 2 編 第 3 章	第 3 章： 皮膚の循環器系と神経系					
第2回							
第3回	第 2 編 第 4 章	第 4 章： 皮膚と皮膚付属器官の生理機能					
第4回							
第5回							
第6回							
第7回	第 2 編 第 5 章	第 5 章： 皮膚と皮膚付属器官の保健					
第8回							
第9回							
第10回							
第11回	前期試験対策	確認テスト（第 1 章～第 5 章）					
第12回							
第13回	第 2 編 第 6 章	第6章： 皮膚と皮膚付属器官の疾患				前期試験	
第14回							
第15回							
第16回							
第17回							
第18回							
第19回							
第20回							
第21回							
第22回		確認テスト（第 6 章）					
第23回	卒業試験対策	確認テスト（第 1 編、第 2 編）					
第24回							
第25回	国家試験対策	総復習、模擬試験（第 1 編、第 2 編）				卒業試験	
第26回							
第27回							
第28回							
第29回							
第30回							